

問 県の避難所の割り振り、進展度は

答 一人当たり 3 m²を目安の方針のみ



あべ こうし 議員
阿部 功志

問 広域避難計画で県が割り振る避難先の割り振りの進展度は。

答 10月27日に国・県・避難先14市町村による意見交換会が開かれた。避難所については、パティションの確保を前提に一人当たり3 m²を目安として確保するために避難先自治体と協議する方針が示されたのみで、その後の協議状況は示されていない。パティションの確保は今後県が方針を示す。各避難所の避難者数や必要な職員数は状況把握等に努め、人員不足の場合は国等に要請したい。

問 最初は一人当たり2 m²だったが3 m²に変わり、各自治体の避難計画は再出発。各課題は実現困難で、避難所の問題一つとっても避難計画は破綻している。実効性のある避難計画が策定できるまできちっとやるのか。

答 県が避難所の拡充に向けて検討中。「原子力災害対策指針」や「防災基本計画」に従って、自治体の責務として取り組んでいる。引き続き首長としての責任において、しっかりと策定していきたい。



避難時に組み立てる段ボールベッド

問 保育所・幼稚園の正規職員増を

答 年度途中採用も含め柔軟に対応を



新政とうかい
ささしま しろう 議員
笹嶋 士郎

問 送迎バス園児置き去り事故、園児虐待事件など大変痛ましくやりきれない事件事故が起きている。この根底には、人員不足や低賃金などの職場環境が大きく関わっている。数年かけて幼稚園等の正規職員を増員すべき。

答 職員採用計画に基づき、退職者の補充を基本に、年齢構成のバランスや行政課題の対応などを考慮して行ってきた。今後も職場環境や業務内容などを十分に精査した上で、必要な正規職員を採用・配置をしていく。

問 保育所・幼稚園の現場で子どもを守るためには、職場環境の改善となる正規職員を増やすことが安心安全につながる。年度途中に対応を求められるケースも多いとのことだが、4月の新規採用とは別に経験者の中途採用を行ってはどうか。

答 近年、採用活動や人材確保の考え方が変わり多様化している中で、都市部への志向が強い保育士・幼稚園教諭も採用が難しい職種の一つ。年度途中での採用も含めて柔軟に対応したい。



職員が働いている保育所